



資金収支補正予算書(概要) 令和2年4月1日から令和3年3月31日まで (単位:百万円)

| 収入の部             |        |        |     | 支出の部      |        |        |     |
|------------------|--------|--------|-----|-----------|--------|--------|-----|
| 科目               | 補正予算   | 予算     | 増減  | 科目        | 補正予算   | 予算     | 増減  |
| その他の収入           | 8,265  | 7,705  | 560 | 教育研究経費    | 4,498  | 3,894  | 604 |
| 教育研究振興引当特定資産取崩収入 | 510    | 0      | 510 | 奨学費       | 905    | 311    | 594 |
| 貸付金回収収入          | 50     | 0      | 50  | 補助費       | 255    | 245    | 10  |
| その他              | 7,705  | 7,705  | 0   | その他       | 3,338  | 3,338  | 0   |
| その他              | 17,925 | 17,925 | 0   | その他の支出    | 304    | 254    | 50  |
| 前年度繰越支払資金        | 7,530  | 7,530  | 0   | 貸付金支出     | 56     | 6      | 50  |
|                  |        |        |     | その他       | 248    | 248    | 0   |
|                  |        |        |     | その他       | 22,345 | 22,345 | 0   |
|                  |        |        |     | 翌年度繰越支払資金 | 6,573  | 6,667  | △94 |
| 収入の部合計           | 33,720 | 33,160 | 560 | 支出の部合計    | 33,720 | 33,160 | 560 |

事業活動収支補正予算書 令和2年4月1日から 令和3年3月31日まで (単位:百万円)

|        | 科 目           | 補正予算    | 予算      | 増 減  |
|--------|---------------|---------|---------|------|
| 教育活動収支 | 教育活動収入計       | 17,017  | 17,017  | 0    |
|        | 教育研究経費        | 6,176   | 5,572   | 604  |
|        | 奨学費           | 905     | 311     | 594  |
|        | 補助費           | 255     | 245     | 10   |
|        | その他           | 5,016   | 5,016   | 0    |
|        | その他           | 11,370  | 11,370  | 0    |
|        | 教育活動支出計       | 17,546  | 16,942  | 604  |
|        | 教育活動収支差額      | △528    | 76      | △604 |
|        | 経常収支差額        | △395    | 209     | △604 |
|        | 基本金組入前当年度収支差額 | △598    | 6       | △604 |
|        | 基本金組入額合計      | △6,151  | △6,151  | 0    |
|        | 当年度収支差額       | △6,749  | △6,145  | △604 |
|        | 前年度繰越収支差額     | △8,130  | △8,130  | 0    |
|        | 翌年度繰越収支差額     | △14,879 | △14,275 | △604 |
| (参考)   |               |         |         |      |
|        | 事業活動収入計       | 17,421  | 17,421  | 0    |
|        | 事業活動支出計       | 18,019  | 17,415  | 604  |

新型コロナウイルスの感染拡大に伴って、学校法人国学院大学の学生・生徒らの経済的負担を軽減するため、緊急支援対策費として事業費総額6億5400万円を計上した令和2年度学

校法人国学院大学補正予算が、5月29日に開催された理事会で承認、同日開催の評議員会に報告、了承された。この結果、事業活動収支計算書における基本金組入前当年度収支差額は5

億9800万円の支出超過(当初予算600万円の収入超過)となり、基本金組入後の当年度収支差額は67億4900万円の支出超過となる見込み。詳細は大学HPに掲載している。

令和2年度 補正予算成立 学生らの経済支援に6億5400万円

6氏に名誉教授の称号を授与



国学院大学は、令和2年3月に退職した6人の元教授に、4月1日付で名誉教授の称号を贈ることとした。対象者は次の通り。授与式は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、7月に開催を予定している。  
◆文学部＝金子修一氏、古山正人氏  
◆法学部＝横山謙一氏  
◆経済学部＝紺井博則氏  
◆神道文化学部＝阪本是丸氏、ヘイヴンズ・ノルマン氏

たまプラーザキャンパス改修工事 事務室を一時移転

たまプラーザキャンパス1号館の改修工事に伴い、たまプラーザ事務課は事務室を同館1階の会議室に移転し、6月1日から業務を開始した。教員室は304教室に移動した。移転先での業務実施は、7月中旬までの予定。



教職員人事

退職(自己都合)  
◎文学部◆教授▷岡田哲 以上、5月31日付  
◎大学事務局◆専任▷中澤竜也(総合企画部 入学課書記) 以上、6月30日付

傳馬名誉教授 逝去

傳馬義澄名誉教授が4月11日に逝去。79歳。葬儀はすでに執り行われた。  
傳馬氏は昭和15年生まれ。38年国学院大学文学部卒業。42年同大学院文学研究科修士課程修了、47年同博士課程単位取得退学。浅野学園中学高校教諭、女子聖学院短期大学専任講師などを経て、56年国学院大学文学部専任講師。61年同助教授、平成9年同教授。23年定年退職、同年名誉教授。  
専門は近現代日本文学。著書に『思索と抒情―近代詩文論―』(審美社)などがある。本学が主催する高校生創作コンテストでは、平成14年から令和元年まで短篇小说部門の審査員を務めた。

花輪名誉教授 逝去

花輪莞爾名誉教授が5月31日に逝去。84歳。葬儀はすでに執り行われた。  
花輪氏は昭和11年生まれ。昭和35年東京大学文学部卒業。37年同大学院修士課程修了。国学院大学兼任講師を経て、40年同文学部専任講師。45年同助教授、52年同教授。平成18年定年退職、同年名誉教授。  
専門はフランス世紀末文学。作家、翻訳家としても活躍し『洪面の祭』『触れられた闇』で2度芥川賞候補に選ばれた。



佐久間信恭

佐久間信恭は、文久元(1861)年、江戸深川森下町(東京都江東区)に旗本大久保忠恕の次男として生まれ、のち旗本佐久間信久の養子となる。実父・忠恕は長崎奉行や京都奉行を歴任し、鳥羽伏見の戦いでは陸軍奉行並として幕臣を率いた。維新後は静岡藩で小参事や市政掛を務めた。養父・信久は歩兵頭などを経て、鳥羽伏見の戦いでは歩兵奉行並として出陣するが、狙撃され、敗走先の紀州で亡くなった。

維新後は、駿河国沼津に移住し、沼津兵学校付属小学校を修了。明治5(1872)年、横濱に出て英語修業をする。ブラウン(S・R・Brown)の塾や中村正直の同人社、東京英語学校に学び、大学予備門にも学んだが最終的に札幌農学校を卒業した(明治15年、第3期生)。卒業後は、福島県立若松中学校、福岡県立福岡中学校、西本願寺大教校、同志社普通学校などで英語を教えた。25年には、第五高等学校(後の第五高等学校)に赴任し英語科の主任となる。同校での同僚にラフカディオ・ハーンや夏目漱石がいた。30年に退職し、帰京。35年、東京高等師範学校英語科講師。40年、国学院大学の文学部本科開設により英文学の講師に就任する。大正3(1914)年、東京高等師範学校を退職。その後、本学と明治大学で講義を持ちながら著述に専念した。9年、本学退職。11年、新設の大阪外国語学校(後に大阪外国語大学、現大阪大学外国語学

反骨の英語学者・佐久間信恭

幕末・明治・大正を生きた研究者秘話

学問ノ道 第26回

部)に英語科主任として赴任するが翌年没した。享年61。著書には『英名家詩散文集…附註釈』(明治32年刊)、『会話作文和英中辞林』(37年刊)、『英語おもちゃ箱』(41年刊)などがある。  
本書図書館蔵の『会話作文和英中辞林』は明治37年10月刊の第9刷である。初刷は同年7月であり、いかに同書が増刷されたかがわかる。同書の例言によれば、「英語を学ばむとする中、學程度の学生の爲め」「東京の学生間に行はるゝ語を標準とし」「英国に行はるゝ綴字法に従ひ」「作例は現時中学校に行はるゝ読本、会話書及作文教科書より抜き、尚諸学校入学試験問題中より採り、更に足らざるを新聞雑誌記事に求め」編集したという。なお漢文学者、松平康国は実弟にあたる。

学術メディアセンター 図書館事務課主幹 古山悟由

新型コロナに負けるな メッセージ募集中

おすすめの自宅学習法や逆境を打ち勝つアイデアなど、新型コロナに負けないためのアドバイスやエールを引き続き募集しています。QRコードからメッセージをお待ちしております。順次紙面にてご紹介。



**新型コロナウイルスに負けるな**

地域によって1カ月半にも及んだ緊急事態宣言が解除されました。しかし、これまでの生活が戻る日までにはまだまだ時間がかかりそうです。困難を克服してよりよく生きるヒントを教員、卒業生、学生に寄せていただきました。

【6面にも】

「つもり貯金」応用術

東海林 孝一（経済学部准教授）

皆さんも「コーヒーを飲んだつもりで300円貯金」など、つもり貯金を知っていますよね。コロナ危機のため当面は登校できません。そこで往復の通学時間を「登校したつもり」で、TOEICや漢字検定、簿記検定などの勉強時間に“投資”しませんか。就活の強い武器になるはずです。（専門分野・会計学）

今こそ、一意攻苦の時

内川 隆志（研究開発推進機構教授）

大学とは単なる学びの場ではなく、ここに集う数多の人との交わりによって学生が成長する“場”です。疫禍によってそれが絶たれた今、机に向かって勉強する格好の機会と腹をくくって、時を待ちましょう。必ずやその学びを一層深める人、モノ、場があなたを迎えてくれるでしょうから。

（専門分野・考古学、博物館学）

キャンパスで会おう！

武田 秀章（神道文化学部教授）

鬱々の日々、私が繰り返しひも解いているのは、江戸時代の国学者、本居宣長『古事記伝』自筆稿本（影印版）です。メンター、賀茂真淵との「出会い」が、若き宣長の「スイッチ」を力強く押したのです。一陽来復、新入生の皆さんと出会う日を、在学生の皆さんと再会する日を、心待ちにしています。

（専門分野・神道古典、神道史）

想像力に必要なもの

佐川 繭子（教育開発推進機構准教授）

未曾有の状況と言われる現在、さまざまな場面で想像力が求められています。ただ、自分の脳味噌だけで想像できることには限界があります。そもそも、何を想像するにも知識や体験が必要です。今は、知識を蓄えるのにふさわしい時。そう思って、学んでいきましょう。

（専門分野・中国古典文献学、中国古代思想）

研究とデータ

深澤 太郎（研究開発推進機構准教授）

COVID-19対策だって、検査データのn値が多いほど正確な情報が手に入ります。ほかの研究も同じ。しかし今は、フィールドや図書館でデータを収集しにくいのが痛いところ。そこで、考古学専攻生には、WEB上の「全国遺跡報告総覧」がオススメ。全国の発掘報告書がPDFで読めますよ。

（専門分野・日本考古学）

ICTと教える技術の修得を

小口 浩史（高校教諭、平6卒・102期文）

高校の授業も動画作成や小テストづくりなど今までの紙ではなく、初めて取り組む方式が多くあり、可能性を感じる半面、本当に知識が身につくのか不安な面も多くありました。私の大学時代になかったICTを当たり前のように使いこなせる人物が求められています。その技術を身につけておくと良いでしょう。

ただし、本当に効率がいいかは別問題だと思うので、ICT教育と教える技術の両面をバランス良く身につけてください。

令和元年度学校法人国学院大学決算は、監事および監査法人の監査を経て、5月29日に開催された理事会で承認、同日開催の評議員会に報告、了承された。

本決算は大学部門で東京23区内の高等教育機関に対する国の政策による定員管理の厳格化の影響を受け学生生徒等納付金が減収（法人全体：前年比3億1200万円減）し、厳しい財政運営となったが、「21世紀研究教育計画（第4次）」に沿ってほぼ計画どおり事業を執行し、法人全体で基本金組入前当年度収支差額が8億9300万円の収入超過となった。

事業の重要度や優先順位を検証し、各事業が円滑に遂行できるよう財源配分を行う一方で、持続可能な経営環境を維持すべく、基本金をはじめとする財務基盤の安定的構築を計画通り実施した。

その結果、貸借対照表における資産規模は、総資産1268億円を確保し、そこに占める各種特定資産も堅調に積み増すことで、安定した財務基盤を維持する決算となった。詳細は大学HPに掲載している。

資金収支計算書 平成31年4月1日から令和2年3月31日まで (単位:百万円)

| 収入の部        |        |        |      | 支出の部      |        |        |        |
|-------------|--------|--------|------|-----------|--------|--------|--------|
| 科目          | 予算     | 決算     | 差異   | 科目        | 予算     | 決算     | 差異     |
| 学生生徒等納付金収入  | 13,258 | 13,341 | △83  | 人件費支出     | 9,595  | 9,549  | 46     |
| 手数料収入       | 716    | 780    | △64  | 教育研究経費支出  | 4,025  | 4,021  | 4      |
| 寄付金収入       | 449    | 443    | 6    | 管理経費支出    | 1,399  | 1,280  | 119    |
| 補助金収入       | 2,271  | 2,348  | △77  | 借入金等利息支出  | 12     | 13     | △1     |
| 資産売却収入      | 0      | 0      | 0    | 借入金等返済支出  | 820    | 820    | 0      |
| 付随事業・収益事業収入 | 188    | 188    | 0    | 施設関係支出    | 3,416  | 1,924  | 1,492  |
| 受取利息・配当金収入  | 191    | 222    | △31  | 設備関係支出    | 339    | 354    | △15    |
| 雑収入         | 427    | 504    | △77  | 資産運用支出    | 4,522  | 4,426  | 96     |
| 借入金等収入      | 596    | 595    | 1    | その他の支出    | 401    | 497    | △96    |
| 前受金収入       | 2,481  | 2,577  | △96  | 予備費       | 499    |        | 499    |
| その他の収入      | 5,067  | 5,084  | △17  | 資金支出調整勘定  | △233   | △534   | 301    |
| 資金収入調整勘定    | △2,769 | △2,849 | 80   | 当年度支出合計   | 24,798 | 22,350 | 2,448  |
| 当年度収入合計     | 22,875 | 23,233 | △358 | 翌年度繰越支払資金 | 7,530  | 10,336 | △2,806 |
| 前年度繰越支払資金   | 9,453  | 9,453  |      |           |        |        |        |
| 収入の部合計      | 32,328 | 32,686 | △358 | 支出の部合計    | 32,328 | 32,686 | △358   |

事業活動収支計算書 平成31年4月1日から令和2年3月31日まで (単位:百万円)

| 教育活動収支    | 事業活動収入の部 | 科目          | 予算     | 決算     | 差異        | 特別収支          | 事業活動収入の部 | 科目       | 予算       | 決算   | 差異   |   |
|-----------|----------|-------------|--------|--------|-----------|---------------|----------|----------|----------|------|------|---|
|           |          | 学生生徒等納付金    | 13,258 | 13,341 | △83       |               |          | 事業活動支出の部 | 資産売却差額   | 0    | 0    | 0 |
|           |          | 手数料         | 716    | 780    | △64       |               |          |          | その他の特別収入 | 312  | 310  | 2 |
|           |          | 寄付金         | 172    | 166    | 6         |               |          |          | 特別収入計    | 312  | 310  | 2 |
|           |          | 経常費等補助金     | 2,251  | 2,329  | △78       |               | 資産処分差額   |          | 98       | 360  | △262 |   |
|           |          | 付随事業収入      | 188    | 188    | 0         |               | その他の特別支出 | 81       | 76       | 5    |      |   |
|           |          | 雑収入         | 427    | 576    | △149      |               | 特別支出計    | 179      | 436      | △257 |      |   |
|           |          | 教育活動収入計     | 17,012 | 17,380 | △368      |               | 特別収支差額   | 133      | △126     | 259  |      |   |
|           | 事業活動支出の部 | 人件費         | 9,615  | 9,539  | 76        | [予備費]         | 499      |          | 499      |      |      |   |
|           |          | 教育研究経費      | 5,696  | 5,710  | △14       | 基本金組入前当年度収支差額 | 57       | 893      | △836     |      |      |   |
|           |          | 管理経費        | 1,457  | 1,341  | 116       | 基本金組入額合計      | △4,558   | △2,390   | △2,168   |      |      |   |
|           |          | 教育活動支出計     | 16,768 | 16,590 | 178       | 当年度収支差額       | △4,501   | △1,497   | △3,004   |      |      |   |
| 教育活動収支差額  |          | 244         | 790    | △546   | 前年度繰越収支差額 | △3,629        | △3,629   | 0        |          |      |      |   |
| 教育活動外収支   | 事業活動収入の部 | 受取利息・配当金    | 191    | 242    | △51       | 基本金取崩額        | 0        | 26       | △26      |      |      |   |
|           |          | その他の教育活動外収入 | 0      | 0      | 0         | 翌年度繰越収支差額     | △8,130   | △5,100   | △3,030   |      |      |   |
|           |          | 教育活動外収入計    | 191    | 242    | △51       |               |          |          |          |      |      |   |
|           | 事業活動支出の部 | 借入金等利息      | 12     | 13     | △1        |               |          |          |          |      |      |   |
|           |          | その他の教育活動外支出 | 0      | 0      | 0         |               |          |          |          |      |      |   |
| 教育活動外支出計  |          | 12          | 13     | △1     | (参考)      |               |          |          |          |      |      |   |
| 教育活動外収支差額 |          | 179         | 229    | △50    | 事業活動収入計   |               | 17,515   | 17,932   | △417     |      |      |   |
| 経常収支差額    |          | 423         | 1,019  | △596   | 事業活動支出計   |               | 17,458   | 17,039   | 419      |      |      |   |

貸借対照表 令和2年3月31日 (単位:百万円)

| 資産の部     |         |         |     | 負債及び純資産の部   |         |         |        |
|----------|---------|---------|-----|-------------|---------|---------|--------|
| 科目       | 本年度末    | 前年度末    | 増減  | 科目          | 本年度末    | 前年度末    | 増減     |
| 固定資産     | 116,040 | 115,896 | 144 | 負債総額        | 13,708  | 13,792  | △84    |
| 有形固定資産   | 63,469  | 63,363  | 106 | 基本金総額       | 118,228 | 115,864 | 2,364  |
| 特定資産     | 49,719  | 49,681  | 38  | 第1号基本金      | 99,770  | 98,205  | 1,565  |
| その他の固定資産 | 2,852   | 2,852   | 0   | 第2号基本金      | 2,200   | 1,900   | 300    |
| 流動資産     | 10,796  | 10,131  | 665 | 第3号基本金      | 15,207  | 14,707  | 500    |
|          |         |         |     | 第4号基本金      | 1,051   | 1,051   | 0      |
|          |         |         |     | 繰越収支差額      | △5,100  | △3,629  | △1,471 |
|          |         |         |     | 純資産の部合計     | 113,128 | 112,235 | 893    |
| 資産の部合計   | 126,836 | 126,027 | 809 | 負債及び純資産の部合計 | 126,836 | 126,027 | 809    |

大学院生対談 日中「院生フォーラム」で得たものは？

国学院大学大学院文学研究科は平成28年、中国・天津市にある南開大学外国語学院との間に研究教育に関する学術協定を締結。昨年で6回目となる「院生フォーラム」では、両大学の教員、大学院生が相互に行き来し、学術的交流を深めているⅡ写真。

昨年11月のフォーラムに参加した2人の大学院博士課程前期2年生（当時）と、引率の井上明芳文学部教授に話を聞いた（取材は3月実施、大学HPで詳報）。

――2年間の大学院での学びは

柴崎一孝さん（以下、柴崎） 文学専攻中国文学コースでの学修では、一緒に学ぶ中国人の留学生から指摘を受けることがあり、中国本来の視点が感覚的に必要なかもしれないと思うようになりました。

前田夏菜子さん（以下、前田） 修士論文テーマは「森敦『われ逝くものごとく』の研究」でした。芥川賞作家・森敦の研究では、小説のエビグラフに論語や漢詩が用いられていることに気付きます。日本文学研究といっても海外の文学や言葉も無視できません。

――院生フォーラムに参加して

柴崎 発表は中国語で行いました。苦勞もありましたけど、学問的な啓発も受けるなど得られた成果の方がはるかに大きかったのは言うまでもありません。

前田 森敦は幼少期に、父親によって論語を学びます。そこで学んだ論語は執筆した多くの作品に生かされています。院生フォーラムでは、この事実からどう議論を巻き起こすことができるかという点に軸足を置いて日本語で発表を行いました。

井上教授 異なる文化を基盤にした研究者の考え方に接することで、当たり前だと思っていた思考の土台が揺らぐことがあります。そうした経験は非常に面白く、有意義なことではないかと思います。

――ありがとうございました



# Z世代の大学生

## 共有・共感好む

「Z世代」とは、1990年代半ば～2010年頃に生まれた、ちょうど今の10代と大学生にあたります。Z世代は生まれたときには現在のデジタル環境のベースが整っており、成熟したテクノロジーの恩恵を受けながら育ちました。そのため、オンラインとオフラインを区別する感覚はなく、どちらも日常として捉えています。

コミュニケーションはオープンで、例えば写真や動画をネットにアップする動機は「思い出の記録」よりも「自己表現」に近いようです。「共有」や「共感」を好み、「納得」すれば行動に移す傾向があります。差別や不平等を嫌い、平等に「個性」を認めてもらいたいという欲求があるようです。

この平等の価値観は、プラス面とマイナス面を生じさせます。例えば「ゲームという得意ジャンルを極める」ことにより「プロゲーマーとして活躍する」道があることを知っており、「ゲームばかりしている＝オタク」という差別や画一的な捉え方をナンセンスだと感じます。誰にでも（自分にも）個性があるのだから、認めるべきだと主張します。そういう意味では、多様性を受け入れる素養はあります。

ただ、インターネットの特性として、使えば使うほど「似たような志向、感覚の情報」が集まりやすくなり、それ以外の情報を目にする機会が減っていきます。すると、多様性を受け入れる素養はあっても、自分の感覚に合い共感・納得できるモノやコトに流される傾向も生じ、同調圧力が働いてしまうことも少なくありません。また、共感・納得したものが正義となると、はみ出るものを排除したくなる困った心理に陥ることもあります。平等ではない（と自分が感じる）ことにも、同様の傾向が見られます。

## 向き合う大人たちへ 「平等」「個性」の尊重を

Z世代と向き合う大人は、平等かつ個々の特性を尊重した対応を心がけましょう。情報収集力に長け、“曖昧なこと”はネットで確認”を常とするZ世代。共感できる理由があれば、すんなり行動に移しますから、「納得がいかないなら、〇〇について調べてごらん」と語りかけてみてください。納得できる情報にたどりつければ、そのまま身につくことも多いでしょう。同様の傾向は小中高校生にも見られます。教職を目指す学生本人にも意識して実践してほしいことです。

## 就活

### #印象アピールの工夫を

採用活動にオンライン面接を導入する企業が増えています。就活活動中の学生は、自宅のネット環境を安定させることが必要です。難しければ、接続が安定する場所（会議スペースなど）を事前に探しおきましょう。

自宅で面接を受けるのであれば、背景に写る範囲の確認も大切です。資格の認定証や、受賞歴があれば、トロフィーや賞状を（これでもか！にならない程度に）さりげなく配置しておくことも有効かもしれません。

面接官の中には「扉を開けて入室したときのような第一印象が得られない」との声もあります。カメラをのぞき込まず姿勢を正す、挨拶や話し始めのトーンを工夫するなど、第一印象としてアピールできそうなことを考えておくことも大切です。身振り手振りが面接官に見えるよう、自分の写る大きさやカメラのアングルなども事前に確認し、最適な設定を見つけておきましょう。

## オンライン交流

### #最低限のルールやマナー守って

オンラインを通じ、友人やサークルなどの仲間と会合する機会も増えたことでしょう。ですが、ここでも最低限のルールやマナーは必要です。例えば上級生であれば、先輩が抜けにくくならないよう、ある程度の時間がきたら、「またね！」「あととはよろしく！」と抜けるのがカッコイイと心得ましょう。

また、あらかじめ終了時間を決めて開催・開始▷ビデオ参加を強要しない＝音声参加もOK▷勝手なスクリーンショットや録画、録音は厳禁（必要なら事前に承諾を）—といった程度のことを参加者全員の共通認識にしておくのが理想です。

成人学生はオンライン飲み会をすることがあるかもしれませんが、お酒が進むにつれ、態度が横柄になり、暴言が出てしまう可能性にも注意しましょう。

# #大学生とネットコミュニケーション基本の“き” 柔軟な発想で活用しよう

## 授業

### #より良いオンライン授業 学生と教員の協働で

新しい取り組みに失敗はつきもの。オンライン授業では、回線切断などの物理的なトラブルだけでなく、意思疎通がうまくいかないこともあるかもしれません。そうしたとき、学生は躊躇せずに意見を伝えましょう。逆に教員は、デジタルの生かし方をよく知るZ世代の学生に柔軟なアイデアを求めましょう。

教員は「教える側である自分たちが何とかしなければ」という考えを捨ててみませんか。よく分からない点、もっと良くするためのアイデアは、学生を頼りにすればよいのです。そして、提供された案が優れていれば、「認める」「褒める」「共有する」ことを忘れずに！ そうすれば、学生はさらに良いアイデアを提供してくれるはずですよ。

こういった学生と教員の協業、協働が、社会に出る直前である学生たちの付加価値となり、学生にとっても大学にとってもプラスの結果となって戻ってくるに違いありません。



## ワンポイントアドバイス

### 学生編

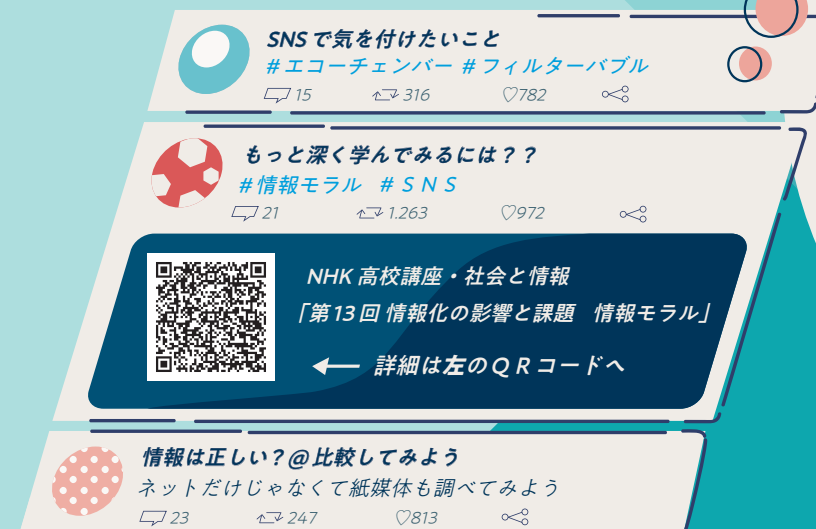
オンライン授業で学生が使う機器はスマートフォンやタブレット、パソコンなどさまざまです。資料を見ながら授業を受ける際に、必要な人は資料を事前に印刷したり、複数の機器を連動させたりして手元に置いておきましょう。重要なことを聞き漏らさないためにも、事前準備が大切です。

### 教員編

オンライン授業に臨む際には、まずルールを決めておきましょう。例えば「発言したい人は挙手機能を使う」などです。授業の途中で、数人単位で意見を集約する時間を設けると効率的です。教室での授業ではガヤガヤしてしまうことも、学生同士でラインやチャットを使って会話ができ、オンラインの利点を生かせます。

## SNS

### #「意見」と「中傷」は違う



SNSや検索エンジンを利用すればするほど、次の現象による情報の偏りが起きがちです。

【エコーチェンバー】……自分と似たような考えや感覚を持つ人ばかりが集まるようになってしまう。

【フィルターバブル】……自分の趣味嗜好やよく見る情報の傾向から遠いものが自動的に弾かれるようになってしまう。

この2つの現象によって見えないカスタマイズが繰り返されているネット環境に慣れてしまうと、ネットにはフェイク情報や怪しい情報があふれていることを認識している世代でも、トラブルに巻き込まれてしまいます。ですから、日頃から多様な情報に接するように心がけ、再投稿や拡散をする前に、次の行動を忘れないでください。

- ✓ 他の情報と比較してみる（ネットだけでなく紙媒体も活用）
- ✓ 情報の発信源を確認する（発信者が分かればその人の信頼性もチェック）
- ✓ いつ頃の情報が確認する（自分にとって都合がよい古い情報を持ち出す人も多い）
- ✓ 一次情報を探し確認する（伝言ゲームのように変わっていることも）

また、世界中の人が利用するSNSで、誹謗中傷を認める規約を掲げているものは皆無。自ら発信する際も「批判意見」と「誹謗中傷」の違いを常に意識して、自分の個性を汚すことにならないよう心掛けましょう。

## 学生の皆さんへ #ノウハウ生かし挑戦を

近い将来、自分の個性を生かして社会で活躍するためには、Z世代の「当たり前」が、それ以前の世代には「??」なのだと意識し、感覚の異なる相手にも理解してもらえるよう「言葉で伝える＝共有する」ことが大切です。生まれてからこれまでデジタル機器の恩恵を当たり前のように受けてきた皆さんは、プライベート利用に関しては「プロフェッショナル」です。しかし、オフィシャル利用に関しては素人同然。これからは、皆さんの持つノウハウと、大人や社会人としての先人たちの知識や経験を上手にパズルすることに挑戦しましょう。そして、そこから「新しい何か」がどんどん生み出されることを期待しています。



### Profile 尾花 紀子さん

昭和59年、日本アイ・ビー・エム入社。人材育成、プロバイダー事業、教育ソフト監修などを手がけ、平成17年フリーに。同時に「ネット教育アナリスト」として活動を開始。インターネット教育の専門家として、行政機関などの委員を務める傍ら、教育・PTA団体や学校からの講演依頼も多い。現在、内閣府「青少年のインターネット利用環境実態調査 企画分析会議」委員、総務省「青少年の安心・安全なインターネット利用環境整備に関するタスクフォース」委員、安心ネットづくり促進協議会「普及啓発広報委員会」副委員長など。共著に『子どもといっしょに安心インターネット』（全3巻、岩波書店）。

# インフォダイジェスト

 … 在学生
  … 保護者
  … 卒業生
  … 一般
  … 受験生  
 内容
  日にち
  時間
  場所
  対象
  申し込み
  料金
  問い合わせ

## 大学からのお知らせ

### 緊急修学支援費へのご支援のお願い

**内**国学院大学では、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、本年度前期授業を遠隔授業（オンライン）で実施しています。しかし、自宅学修における資料収集や機器備品の整備で出費がかさんだり、アルバイト収入が減ったりして生活への不安も増していることと思います。

これらの不安を解消する一助として、本法人では、緊急修学支援費の給付や修学支援特別貸付金の開設、前期学費等納付金の納入期限延長の措置を講じました。

この支援により一人でも多くの学生・生徒らが経済的に救われることを願っていますが、今後も法人としてさらなる支援の拡大と継続が必要であると考えています。しかし、限りある財源の中では法人単独の支援には限界があります。そうした状況下でも、何とか支援を拡大できないかの考えにより募金を開始した次第です。

在籍するすべての学生・生徒らが無事に卒業し、自己実現をはかるこ

とができるよう、皆さまからのご支援を心よりお願い申し上げます。

本学HP (<http://kifu.kokugakuin.ac.jp/covid-19.html>) から応援メッセージを添えてお申し込みください。

**申**インターネットでのクレジットカード決済（VISA、MasterCardの2種類）が可能です。

**固**経理課（☎03・5466・0115）※本法人への指定寄付金は税制上の優遇措置を受けることができます

### 高校生向けコンテスト作品募集

**内**国学院大学と高校生新聞社では、第24回全国高校生創作コンテストならびに第16回「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト（いずれも国学院大学若木育成会、国学院大学院友会、国学院大学北海道短期大学部協賛）の作品を次の要領で募集します。

①全国高校生創作コンテスト

**【部門】**

▶ 短編小説の部（1人3篇以内＝1篇4000字以内）

▶ 現代詩の部（1人3篇以内＝1篇45行以内）

▶ 短歌の部（1人3首以内）

▶ 俳句の部（1人3句以内）

※各部門とも専用の応募用紙、またはA4サイズの用紙で提出

**【表彰】** 最優秀賞（各部門1人、賞状・副賞5万円・記念品）、文部科学大

## 博物館

### Online Museum 始動

**内**新型コロナウイルス感染拡大に伴う休館中の取り組みとして、国学院大学博物館では「おうちミュージアム」をSNSで発信してきましたが、今回、「ステイホーム」でも博物館の展示をさらにお楽しみいただけるよう動画による「オンラインミュージアム」を始めました。当館の研究

者による解説付きで紹介する新たな試みです。考古・神道・校史の常設展示を順次公開し、企画展に関してはオンラインミュージアムのための特別編集の映像でお届けします。今後は、いつでも・どこでも当館の魅力をお楽しみいただけます。

※オンラインミュージアムと開館に関する最新情報は当館HP (<http://museum.kokugakuin.ac.jp/>) でご確認ください

※博物館に関する問い合わせは  
☎03・5466・0359

臣賞（1校、賞状・副賞5万円相当の図書カード・記念品）など

②「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト **【部門】**

▶ 地域文化研究部門（祭り・伝統行事・郷土料理・方言などの調査研究＝個人・団体）

▶ 地域民話研究部門（昔話・伝説など民話の調査研究＝個人・団体）

▶ 学校活動部門（学校や部、クラスなどの地域研究活動の実践報告）  
※レポート枚数自由（ただしA4サイズの用紙を使用）、映像の場合は15分以内で提出

**【表彰】** 地域文化研究部門・地域民話研究部門：最優秀賞（個人・団体各1作品、賞状・副賞5万円・記念品）など▽学校活動部門：優秀賞2校（賞状・副賞3万円相当の図書カード・記念品）▽折口信夫賞：1作品（賞状・研究費5万円・記念品）

**【応募期間】**  
7月1日(水)～9月10日(木)必着

**【応募条件・概要】**  
▶ 高校生であること  
▶ 自作未発表のもの

**【応募方法】**  
高校生新聞社のHPからダウンロードして必要事項を記入した応募用紙を添えて応募。  
※ペンネームは不可

**【応募先】** 〒194-0022東京都町田市森野1-34-10高校生新聞社コンテスト事務局「第24回全国高校生創作コンテスト係」または「第16回『地域の伝承文化に学ぶ』コンテスト係」へ郵送か☎(contest2020@sclpa.jp)で。

**【発表】** 11月中旬に入賞者に通知、主催者HP、本紙でも公表します。

**固**高校生新聞社コンテスト事務局  
(☎042・724・2750  
☎042・724・2860)

### 大学院Web進学相談会

**内**国学院大学大学院では、進学を希望する方に向けて、「Zoom」を利用したWeb進学相談会を開催します。本学大学院には文学、法学、経済学の3つの研究科があります。それぞれの担当者が専攻・コースについて説明するだけでなく、個別相談にも応じます。

また、参加後のWebアンケートにお答えいただいた方には、入試要項・大学院案内を進呈します。

**日** 6月27日(土)  
**時** 14:00～ 大学院委員長より説明  
14:10頃～ 各研究科（専攻・コース）説明  
14:40頃～ 個別相談  
**対** 受験生・一般  
**申** Peatix事前申し込み制のHP

(<https://kokudaigakuin.peatix.com>)から。後日、登録者のアドレスにMeeting IDを送信します。

**固**大学院事務課(☎03・5466・0142)

### オンライン学修相談「アカデミック・アドバイジング」

**内**国学院大学学修支援センターでは、対面による相談に代わって臨時に「Zoom」を利用した学修相談にに応じています。レポートの書き方、自学自習やプレゼンテーション（口頭発表）のやり方など、具体的な学修のコツをアドバイスします。

**日・時** 平日（大学休業日除く）10:00～18:00（1回30分）

**申** 希望日の3日前までに、[件名] オンライン学修相談予約、[本文] 所属（学部・学科・学年）、学籍番号、氏名（フルネーム）、希望日時（第3希望まで）、具体的な質問内容を記入したメールを学修支援センター（☎gs-support@kokugakuin.ac.jp）に送付して予約。  
**固** 教育開発推進機構学修支援センター（☎gs-support@kokugakuin.ac.jp）

### 生協 店舗一部営業再開

**内**休業していた生協の店舗営業を、6月15日から一部再開しました。対象は、渋谷キャンパス内の購買部とコンビニコーナー。当面は平日に限り短縮営業です。入店の際はマスク着用など感染対策を。

営業時間は、購買部が11:00～16:00、コンビニは11:00～14:00。いずれも平日のみ。

**固**生協事務局(☎03・5466・0165)

## 新型コロナに負けるな

### ときには現実逃避も

平藤 喜久子（研究開発推進機構教授）  
今、あえて現実逃避をしませんか？ 私の専門は神話学なので、神話の世界に浸ることをオススメしますが、話題のファンタジー小説やマンガの長編もいいですね。思い切って異世界に逃げ込んでみましょう！ 思いがけない力が身について、現実にも立ち向かえるようになるかもしれません。（専門分野・神話学）

### 早朝散歩で一日を有意義に

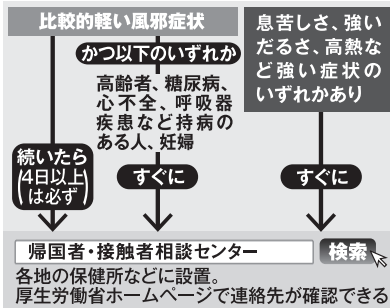
学生（女性、20代）  
昨年の今ごろは登山をしに行き、部員とともに楽しんでいました。しかしこの状況の中、登山に行けないため、早朝に起き1時間ほど近所を散歩しています。1日有意義に過ごしています。

## 感染が疑われたら保健室に連絡を

新型コロナウイルス感染症と診断された方、疑いがある方は、必ず保健室にメールか電話で連絡をしてください。

▶ 保健室メールアドレス  
☎hoken@kokugakuin.ac.jp  
▶ 渋谷TEL(平日9時～16時30分)  
☎03・5466・0148  
▶ たまプラーザTEL（平日9時～16時）  
☎045・904・7721

### 新型コロナウイルス 相談・受診の目安



令和2年5月13日付 産経新聞 無断転載・複写不可

## キャリアサポート

### 進路電話調査

**内**4年生を対象に、進路状況に関する電話調査を実施します。希望進路（一般企業・公務員・教職・神大関係・進学）にかかわらず、「現在の進路状況」の報告をお願いします。現状を把握することで、支援内容・企画の充実に繋がっていきますので、ご協力をお願いします。

キャリアサポート課からの電話には極力出てください。☎K-SMAPY II から進路状況の登録・更新と、進路決定の報告をお願いします

**日** 7月7日(火)～7月17日(金)  
**対** 4年生

### マナーガイダンス

**内**準備を徹底してインターンシップに臨もう!! 就職活動において必須条件のビジネスマナーについて、敬語、電話対応から会社訪問・面接時の動作などを解説します。できて当

たり前が求められるマナーを、実践できるようにしましょう。※ライブ配信

**日・時** 6月24日(水)12:50～14:20

**対** 1～3年生

**申**ライブ配信に参加する場合はK-SMAPY IIで事前予約。後日、録画のウェブ配信を視聴する場合は予約不要。

### インターンシップ事前研修

**内**インターンシップを就活に活かそう！ここ数年はインターンシップが採用に直結することもあります。実習の目標設定など、入念な事前準備をしてインターンシップでの学びを活かしましょう。※ライブ配信

**日・時** 7月1日(水)12:50～14:20

**対** 1～3年生

**申**ライブ配信に参加する場合はK-SMAPY IIで事前予約。後日、録画のウェブ配信を視聴する場合は予約不要。

※詳細確認・申し込みはK-SMAPY IIの「就職／各種面談」→「セミナー申込」から

# ようこそ新入生！私たちの部会・サークル・研究会



体育連合会水泳部

水泳部は一人一人の目標を達成するために日々練習をしています。またそれとは別に生活面で、人間的に成長すること(挨拶・礼儀など)も目標としています。国学院大学にはプールがないため、練習場所として、東急スイミングスクールたまプラーザなど外部のプールを月・水・木曜の週3回借りて練習しています。また春休みと夏休みに合宿を行っています。

ココが自慢

水泳部はそれぞれのレベルや種目によってコース分けをして練習しているので初心者の方も安心です。

【構成】2年2人、3年5人、4年6人

【活動場所】東急スイミングスクールたまプラーザ

【Twitter】@swim\_kokugakuin



旅サークルTTT

活動場所は主に都内近郊で、長期休暇では伊豆や群馬などへ合宿に行きます。活動は基本月に1・2回あり、サブ活動としてBBQやボウリングなどがあります。活動場所ではずっと団体行動というわけではなく、個人行動できる時間もありますので、それぞれ自分の行きたいところへ行くこともできます。お金をあまり使わずに旅をするをモットーとしており、気軽に参加できると思います。

ココが自慢

活動も月に1・2回で、強制でもないため気軽に参加できます！部員数が多く、友達づくりに最適！

【構成】2年46人、3年26人、4年23人

【活動場所】都内近郊の観光名所

【Twitter】@TTT06737212 【Instagram】@ttt\_kokugakuin



ファイエル・コール混声合唱団

私たちは11月に開催する定期演奏会に向けて日々練習を重ねています。主に月曜日と水曜日に練習を行い、年に3回の合宿があります。練習以外にもBBQやレクリエーション、サマーコンサートなど数多くのイベントもあります。合唱に興味がある方、合唱なんて興味ねえしと思ってるそこのあなた、ぜひ一度部室まで足を運んでみてください。未経験者もたくさんいるのでどんな方でも大歓迎です。

ココが自慢

靖国神社例大祭の賛助など他ではできない貴重な経験ができ、広い部室があるのが大きな魅力です！

【構成】2年15人、3年14人、4年13人

【活動場所】【渋谷】若木会館121号室

【Twitter】@feuerchor 【HP】https://feuerchor.amebaownd.com/



体育連合会スポーツチャンバラ部武刀会

スポーツチャンバラとは、剣を相手の体に当てたら勝ちというシンプルなルールに加え、大学生から始める人が97%とまさに今始めやすい競技です。大学に正式に認められた部活で安心して活動でき、数々の大会で優勝実績を残しています。部員間の仲も良く節度を守り楽しく活動しています。活動日時は、月・金曜の19~21時です。他大との交流が盛んで、お互いの練習に参加し合うことも多く、交友関係が全国に広がります！

ココが自慢

97%もの人が大学生から始める競技なので、自分の努力次第で1年生でも上位入賞が狙えます！

【構成】2年生29人、3年生16人、4年生7人

【活動場所】【渋谷】アリーナ、渋谷付近の体育館

【Twitter】@usagisngumi 【HP】http://spochan-butokai.com



中国語会話研究会

普段は上級グループと基礎グループに分かれて週に1回を目安に活動しています。上級グループはテーマに沿って中国語でディスカッションや映画鑑賞を行い、基礎グループは中国語の挨拶や日常会話表現を学びます。また不定期での活動としては、中華街の散策や中華料理店での食事会、留学の報告会、留学生との交流などを行っています。

ココが自慢

普段の会話練習で中国語会話を学び、課外活動を通してそれを楽しみながら実践できる点です。

【構成】2年1人、3年4人、4年8人

【活動場所】【渋谷】教室、研究室

【Twitter】@Hanyuyanjiuhui



Veck

キッズボランティアサークルのVeckです。週1回を目安に、たまプラーザ付近の保育園でボランティアをしており、障がい者施設や高齢者施設などでも活動を行っています。毎月、施設ごとに活動したい曜日や日にちを募集するのでそれぞれの予定に合わせて活動できて、他のサークルと掛け持ちもできます。サークル内での交流を深めるイベントも企画しています。Veckで活動しながら一緒に大学生活を充実させませんか。

ココが自慢

Veckは長期的に同じ施設で活動できるので、周りの変化を身近に感じながら活動することができます。

【構成】2年44人、3年22人、4年5人

【活動場所】【たま】教室、保育園・福祉施設など



体育連合会相撲部

東日本学生相撲連盟Bリーグ昇格を目標に日々の活動に取り組んでいます。現在の部員は4人で4年生2人、2年生2人です。キャンパス内に土俵がないので、他大学への出稽古での活動です。

ココが自慢

主要な大会では両国の国技館や靖国神社の土俵で相撲を取ることができます。土俵に上がる経験が少ない人生の中で貴重な経験になると思います。

【構成】2年生2人、3年生0人、4年生2人

【活動場所】東京大学駒場キャンパス格技場

【HP】https://kokugakuinsumo.github.io/



唐代文学研究会

週に1回の活動。昨年度は火曜日の6限の時間に行っていました。毎回約一つずつ唐代の漢詩とその注釈を訓読、考察をしています。

ココが自慢

授業と違い、少人数での活動なので訓読力や知識がより身に付きます。

【構成】2年0人、3年1人、4年1人

【活動場所】【渋谷】若木タワー1109研究室

物語文学研究会

源氏物語の研究をしています。毎週金曜日に会員が一人ずつ発表を行い、質疑応答の時間を設け発表内容についてみんなで議論しています。学部生だけでなく、先生や院生も参加してくださっています。時にはOG、OBの方々にも来ていただくことがあり、ハイレベルな意見交換がなされたりもします。



ココが自慢

①少人数でアットホームな雰囲気  
②源氏物語についてかなり深く学ぶことができる！

【構成】2年3人、3年1人、4年3人

【活動場所】【渋谷】教室

【Twitter】@monoken2019

K:DNA——創立138年目を迎えた国学院大学の**遺伝子**…個人・個性を尊重する校風 若いエネルギーが未来を変える

## ようこそ新入生！ 私たちの部会・サークル・研究会

課外活動の本格的な再開はこれからですが、新たなチャレンジをしたいあなた、持っている力を伸ばしたいあなたに、5月号に引き続き国学院大学の公認部会を紹介します。協力いただいた部会の皆さまに心からお礼申し上げます。本企画は来月以降も続きます。【Ⅱ面にも】



アカペラサークルびいぐる

私たち「びいぐる」は大学唯一のアカペラサークルです！ アカペラは歌はもちろん、メロディーやドラムの音などを自分たちで表現します。中にはさまざまなパートがあるので必ず自分に合ったものが見つかります。普段のアカペラ活動だけではなく、夏休みや春休みには合宿を行っています。そこではみんなで遊んだりして、より仲を深めることができます！ 大学生活を私たちと充実したものにしませんか？

ココが自慢

毎年90人近くのサークル員が活動していますが、1年生から4年生まで学年・学部問わずに仲が良いです！

【構成】 2年21人、3年23人、4年19人

【活動場所】 【たま】

【Twitter】 @beaglee



囲碁部

囲碁部は、去年の秋期関東学生囲碁団体戦で初の1部昇格を果たしました。普段の活動では1部残留を1つの目標にして練習対局を重ねています。もちろん大学から囲碁を始めた部員も多くいるため初心者でも気軽に楽しめます。特定の活動時間を定めて、常に部室が開いているので授業の合間に来やすく兼部も可能です。少しでも興味があれば部室を覗いてみてください。ちょっとのつもりがどっぷりハマりますよ。

ココが自慢

やりたいこと全部できます。勉学、兼部、なんでも応援します。打つときは打つ、他も頑張る。欲張りな部活です。

【構成】 2年9人、3年9人、4年8人

【活動場所】 【渋谷】 若木会館111号室

【Twitter】 @kokudaiigobu



教師ゼミナール

教師ゼミナール（教ゼミ）は主に教職課程を履修する国学院大生で構成されており、模擬授業や小学校訪問、プレゼン、教育に関する勉強会などの活動を行っています。同じ目標を持ったメンバーと一緒に、模擬授業やプレゼンを行い、意見を交換し合うことでお互いに切磋琢磨し合ったり、実際の教育現場を訪れたりすることができるサークルです。

ココが自慢

教員に必須の「自分の考えを的確に他者に伝える能力」を一緒に学び合えるのは教ゼミだけです！

【構成】 2年13人、3年8人、4年8人

【活動場所】 【渋谷】 教室

【Twitter】 @kokukyousemi



劇団蛾夢

渋谷キャンパスを中心に活動する演劇サークルです。所属するまで演劇未経験だった団員も多数います。役者だけでなく、音響や照明、衣装、小道具や大道具、演出などさまざまな役職が存在し、それぞれの団員がやりたいことを好きなようにやっている自由なサークルです。昨年度の公演回数は6回。脚本は既成・創作どちらにも取り組んでいます。質問などは、TwitterのDMで受け付けています！ お気軽にどうぞ。

ココが自慢

役者をやりながら衣装やメイク、前回は音響だったけど今回は演出！ と、やりたいことをどんどんできます。

【構成】 2年7人、3年9人、4年0人

【活動場所】 【渋谷】 百周年記念館演劇練習室、部室1004

【Twitter】 @gekidan\_gamu



体育連合会硬式テニス部

私たち硬式テニス部は、夏のリーグ戦で勝つことを目標にして日々練習に励んでいます。団体戦では個人の力だけでなくチームの力も必要となるため男女合同の練習をすることも多くあります。普段の練習は週に3回行っています。夏と春には合宿、夏と冬には部員全員で楽しめる企画があり、きっと学生生活が充実したものになると思います。皆さんとテニスを楽しめることを心よりお待ちしております。

ココが自慢

さまざまな学科の部員が在籍しているためテニスだけでなく、学生生活もより楽しく充実したものになります。

【構成】 2年13人、3年7人、4年5人

【活動場所】 【たま】 テニスコート

【Twitter】 @kokugaku\_tennis



写真愛好会

良い写真を撮るには高い機材や技術がいると思われるがちですがそんなことはありません。スマートフォンやコンパクトデジカメでも良い写真は撮れますし技術にこだわらずありのままを写すのも写真の一つの形です。会員は皆、形にこだわらず機材もさまざまに楽しく撮影しています。活動は月に一度会員のリクエストをもとに決めた近場の観光地などで撮影会をしています。そして学内展や若木祭、学外展にて各々の成果を発表します。

ココが自慢

撮影する機材はスマホでも何でもOK。部室のプリンターはリポート作成とかにも便利かも？

【構成】 2年7人、3年6人、4年7人

【活動場所】 学外不定

【Twitter】 @kokugakuinsai

## 未来につなぐ 学術資産研究／ート

## 歌学・仏教界にも影響を与えた日本書紀注釈書

『信西日本紀鈔』 伝藤原信西筆

本書は、藤原通憲[1106～1160]の講説を記録した『日本書紀』の注釈書。信西は通憲の法名であり、『本朝世紀』『法曹類林』などの著者としても知られる。

成立は12世紀中頃とみられ、わずか29丁であるが『日本書紀』の注釈書としては「日本書紀私記」に次いで古く、類似する注釈は皆無であり、語彙を抽出した辞書的性格を有している。諸本は現存せず、異本が上賀茂神社三手文庫にあるのみである。

本文は上（天・地・草・神・人）、下（雑）の6つの部立て構成され、上下を通じて、305項目からなる。しかし、上巻122項目の末尾1項目の

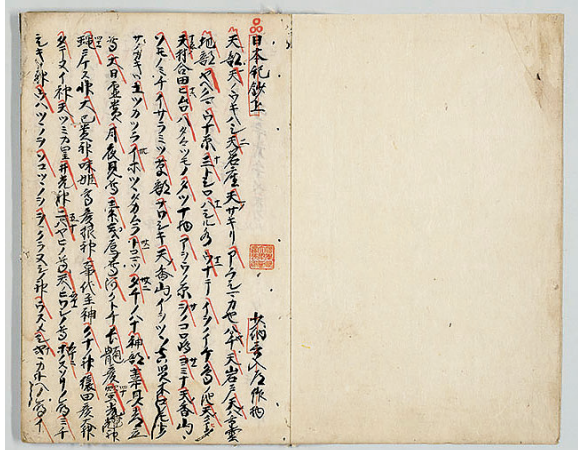
一部と、それに続く3項目が欠脱している。語彙は、ほぼ『日本書紀』全巻から採られるが、神代巻からが多く、それ以外は各巻を通じて説話部分に関心を示している。

本書は、鎌倉時代初期に成立した歌学書や真言宗・天台宗に関わる仏教書籍に逸文として引用されていることから、成立後まもなくして歌学・仏教界へ伝わり利用されていた。

本書の影印・翻刻として中村啓信『信西日本紀鈔とその研究』（高科書店 1990年）がある。

渡邊卓（研究開発推進機構准教授）

国学院大学図書館デジタルライブラリーで公開中



『信西日本紀鈔』 伝藤原信西筆  
【国学院大学図書館所蔵】